

# 交通ちば



VOL. 423 平成25年8月1日

千葉県交通安全活動推進センター  
公益財団法人 千葉県交通安全協会



難関のジグザグ走行



16校の選手が整列して開会式



学科テスト

## 松戸市立八ヶ崎小学校が初優勝 第50回交通安全こども自転車千葉県大会

第50回交通安全こども自転車千葉県大会（県・県警・県教育委員会・〈公財〉県交通安全協会主催）が7月2日、千葉市稲毛区の県総合スポーツセンター体育館で行われました。こどものうちから、交通ルールと交通マナーを守ることを習慣付けて交通事故防止を図ろうと、昭和39年に始まり今年で50回目を迎えた記念大会。各地の予選を勝ち抜いた16校、80人の選手は、森田県知事から寄せられた熱いビデオメッセージに感激を覚え、交通規則や道路標識の意味を問う学科テストと、安全で正しい運転技術を競う実技テストに臨みました。その結果、松戸市立八ヶ崎小学校が悲願の初優勝を果たしました。



デコボコ道走行



路上の故障車の脇を走り抜ける



県警音楽隊の演奏を聴く



左右を確認してスタート



初優勝の松戸市立八ヶ崎小学校の皆さん

会場の県体育館には、保護者、先生、友達、交通安全協会の役員等が応援に駆け付け、選手に熱い声援を送りました。

成績は次のとおりで、優勝校は8月7日、東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開かれる全国大会に出場します。

▽優勝〓松戸市立八ヶ崎小▽準優勝〓同小金小▽3位〓野田市立尾崎小▽4位〓松戸市立相模台小▽5位〓野田市立七光台小▽6位〓松戸市立根本内小▽優良校〓松戸市立中部小、同八ヶ崎第二小、野田市立南勢東小、流山市立南流山小、柏市立富立間野台小、四街道市立みそら小、富里市立洗心小。

## 交通指導員6月の活動

6月中の県内各地の交通安全協会の交通指導員と地域交通安全活動推進委員の出動回数と出動人員は次のとおりです。

○駐車対策	16回	87人	○街頭活動	149回	1635人
○安全教室	192回	567人	・チャイルドシート・シートベルトの着用指導	34回	232人
・児童	31回	79人	・街頭監視	149回	1635人
・一般・高齢者	90回	330人	・街頭広報	72回	140人
○自転車教室	31回	79人	○各種イベント	81回	315人
○祭礼警戒	64回	189人	○会議・研修会等	107回	1039人
			□出動回数総数	836回	
			□出動人員総数	4613人	

## 7月23日現在 県内の交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	11,450件	- 582件
死亡事故件数	97件	+ 9件
死者数	98人	+ 7人
負傷者数	14,328人	- 606人

\*発生件数、負傷者数は概数です。  
\*数字は平成25年1月1日からの累計です。

### 死亡事故の特徴

- **高齢者の死亡事故が多発** 98人中49人が高齢者で、前年同期比13人増です。このうち歩行中に24人（前年同期比10人増）、自転車乗車中に11人（同1人増）となっています。
- **シートベルト着用率が低い** 四輪乗車中の死者27人中18人（シートベルト非着用率66.7%）が非着用でした。
- **脇見運転が最多** 死亡事故の原因となった違反では脇見等が27件、安全不確認が18件、運転操作不適当が14件となっています。

死者98人！全国ワースト4位！



# 各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会ボランティア活動に活用されています。



**東金** 九十九里町豊海幼稚園で紙芝居使用の安全教室を開く。



**浦安** 日の出南小学校で自転車教室を開き点検方法を教える。



**千葉南** 千葉外房有料道路でシートベルト着用を呼びかける。



**茂原** 萩原交通公園で萩原小学校の交通安全教室を開く。



**柏** イオン柏ショッピングセンターで広報啓発活動を行う。



**船橋** 中山競馬場入口交差点でチラシ等を配り啓発する。



**市原** 飯沼町のレクリエーション会場で腹話術で啓発する。



**佐倉** 市役所下交差点でシートベルト着用を呼びかける。



**船橋東** 三咲自治会館でマジックを使う安全教室を開催する。



**君津** ジョイフル本田君津店前で啓発物を配り啓発する。



**印西** 高齢者宅訪問の「安全安心宅配便」で啓発する。



**鎌ヶ谷** みちる幼稚園で信号の見方などを指導する。



**富津** 市内の幹線道路でパネルによる啓発活動を行う。



**山武** 山武市成東のショッピングセンターで啓発活動を行う。



**市川** 大洲防災公園前でシートベルトの着用を呼びかける。



館山交通安全協会



本間 亨 会長

■ 本間会長の話

「当協会の活動範囲は館山市、南房総市（旧富山町、旧富浦町、旧三芳村）、鋸南町です。主な活動として3つのものがあります。毎年1月末ごろに行われる『若潮マラソン大会』は今年第33回が行われ、参加者は毎年約1万人。10キロコース、2キロを走るファミリーコースなどと日本陸連公認のフルマラソンがあり、コースの各所に交通指導員が立ちます。

2つめは4月の新入学期、中学の新生にヘルメットと夜光腕章を贈っていることです。昭和55年から続けている活動です。3つめは毎年7月の最終土曜日に北条海岸で行っている『冷やしタオル作戦』です。海水浴客に冷やしタオルを配り、帰りに交通事故に遭わないよう婦人部が行っていて、昭和50年代の初めごろから行われています。いずれも長い歴史を刻む活動です。昭和40年代あたりまで、夏になると館山の海辺にはビーチパラソルの花が満開になると言われるほどたくさんの方が来ましたが、今は館山自動車道につながるバイパスの開通でそのころの賑わいはなくなりました。もう



左から 和泉美知代さん、金木綾子さん、平嶋倫治事務局長、菊間万里子さん、

ひとつ歴史あるものとして法人会員の存在があります。交通安全協会は旅客関係のバスやトラック運送の会社が自発的に呼び掛け合って組織づくりをしたのが始まりと言われていますが、当協会にはそのころの会員が今も健在で、法人会員として6社が在籍しています。

■ 平嶋事務局長の話

「年々会員として加入して下さる方が減っているの、一人でも多く加入して頂けるように笑顔で接するようにしています。今後も警察のご指導を仰ぎ、館山らしさを継承しながら交通指導員が心を込めた活動ができるよう支えていきたいと思っています。」

交通安全年間スローガン募集

- ◆ 応募期間 平成25年7月初旬から9月30日まで（必着）
- ◆ 募集部門
  - 【一般部門A】 運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの
  - 【一般部門B】 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
  - 【こども部門】 小・中学生へ交通安全を呼びかけるもの
- ◆ 応募資格
  - 一般部門A・B = 一般および学生（小・中学生、高校生も応募可）
  - こども部門 = 小・中学生まで
- ◆ 応募方法
  - はがき1枚ごとに ①応募部門 ②スローガン1点（句読点はつけない） ③住所 ④氏名 ⑤生年月日 ⑥職業（学校名・学年） ⑦電話番号を明記。小・中学生は、学校所在地と電話番号併記。
  - 学校・企業・団体単位で一括送付可
- ◆ 送り先
  - 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業本部
  - 「交通安全年間スローガン」係
  - TEL 03-3212-0190
- ◆ 主催（一財）全日本交通安全協会・毎日新聞社

交通安全ファミリー作文募集

- 応募期間 平成25年6月20日～9月10日（当日消印有効）
- 応募区分
  - ①小学生の部 ②中学生の部 ③一般（高校生以上の部）
- 応募方法
  - 応募時時点の学年で書いたもの及び未発表のもので、自作のものとし、1人1作品に限る。1200字（400字詰め原稿用紙3枚）程度。電子メールでの応募も可。Microsoft Wordを使用し、1枚当たり縦書き20字×20行で作成。小学生は800字から1200字程度でも可。電子メールによる応募の際は件名を「25交通安全ファミリー作文」とする。
- 小学生の部及び中学生の部
  - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③氏名（ふりがな）
  - ④性別 ⑤学校名 ⑥学年 ⑦郵便番号・学校所在地・電話番号
- 一般（高校生以上）の部
  - ①内容にふさわしい題名 ②応募区分 ③郵便番号・住所
  - ④氏名（ふりがな）⑤性別 ⑥年齢 ⑦職業等 ⑧電話番号
  - ⑨応募の動機（ポスター・チラシを見て等）
- 送り先 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル701 (株)海風社内「交通安全ファミリー作文係」 電話 06-6586-6227 E-mail: sakubun@kaifusha.co.jp
- 主催 内閣府、（一財）全日本交通安全協会、（公財）三井住友海上福祉財団、（一財）日本交通安全教育普及協会

発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会

ホームページアドレス  
http://www.chiba-ankyo.or.jp

千葉県美浜区浜田2丁目1番  
千葉県警察本部交通部運転免許本部内  
電話 043-271-8481

交通ルールを守って  
つながる笑顔

